

高知憲法速報

No.264 2011. 7. 29

発行：高知憲法会議事務局 088-872-3406

編集人 事務局 徳弘嘉孝

民主党選挙制度改革中間報告 8月上旬にも

民主党は7月21日、3週間連続して政治改革推進本部総会を開きました。衆議院選挙制度改革中間報告を8月上旬までにまとめようとしています。執行部提案の改革案は、小選挙区の「一人別枠方式」(300議席のうち、47道府県に各1議席を優先的に配分し、残りを人口に応じて配分する方法)を廃止し、「21増21減」(増＝東京6、神奈川3、埼玉、千葉、愛知、大阪各2、北海道、静岡、兵庫、福岡各1、減＝青森、岩手、宮城、秋田、福井、山梨、三重、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、山口、香川、愛媛、徳島、高知、佐賀、長崎、熊本、鹿児島、沖縄以上各1)にするものです。同時に比例代表部分については、マニフェスト通り定数を80削減するものです。21日の総会では、小選挙区で最小県へ2議席を配分するなど「平岡秀夫議員案」始め4つの修正案が提出され議論されたことが報じられています。小選挙区制で大政党が得票率以上に議席数を獲得することや、国会議員の質の低下・劣化がもたらされていることから、その見直しをやろうという動きは民主党や自民党の大物議員からも出されています。小選挙区制の廃止こそ求められています。

公明党は自民党に同調して「150選挙区・定数3の中選挙区制」を掲げてきましたが、「政界再編の有無に関わらず影響力を保つために、中選挙区よりも比例中心が望ましいと判断」し、「年内に具体案を取りまとめる予定」と伝えられています。

参議院の選挙制度をめぐって民主党は7月27日参議院議員総会を開き、5月に「対策チーム」が提示していた参院選挙改革案を決定し、同党の政治改革推進本部総会で決定の上、来週に開かれる西岡議長召集の「検討会」に提案します。民主党案は、①比例代表20、選挙区20を減らし、総定数を202議席(現行242)とする。②有権者の少ない10の選挙区を「合区」して、5つの選挙区にする。「合区」して定数を減らすところとして、現在それぞれ選挙ごとの定数が1の「石川+福井」「島根+鳥取」「徳島+高知」「長崎+佐賀」を

各1に、「長野(定数2)+山梨(1)」を定数2にするとしています。また現在2の宮城、福島、新潟、岐阜、京都、広島は1に、神奈川は3を4にするというものです。議論では、「利害が異なる県がいつしよになる理由がない」などの異論も出されました。民主党執行部はこのところ「マニフェスト見直し」を公言していますが、この日の会議では「定数40削減は参院選マニフェストで約束した」(興石東参院議員会長)などと反対意見を押し切っています。

「憲法96条改正議員連盟」2回目の総会

改憲発議要件の緩和をめざして6月7日に超党派で結成された「96条改正議員連」は、7月21日に2回目の総会を開きました。民主、自民、公明、みんな、たちあがれ日本、無所属の議員55人が参加。佐々木毅元東大校長が講演しました。(設立総会では櫻井よし子氏が講演)

8月3日議面集会と議員要請

憲法会議など11団体の呼びかけで8月3日、議員面会所での集会と議員要請行動が取り組まれます。「民意を国会から遠ざける比例定数削減は許せない」のこえを、国会議員にも届けましょう。集まった署名をお届けください。

自民党国家戦略本部報告書

自民党国家戦略本部(本部長・谷垣禎一総裁)は中長期的な基本政策である報告書「日本再興」を、20日発表しました。昨年9月に作られ討議を55回行ったという同本部の6つの分科会(成長戦略、社会保障・財政・雇用、地域活性化、国土保全・交通、外交・安全保障、教育)の報告で構成され、55ページにわたるものです。集団的自衛権の行使、非核2.5原則への転換、日米防衛協力の推進、武器輸出3原則の緩和、既存原発の稼働維持、道州制の推進、消費税を含む税制抜本改革の断行、新教育基本法に合致した教科書検定と採択、国旗掲揚・国歌斉唱義務化の法整備、教員免許更新の厳格化など多面的に述べています。

8・15戦争を語り継ぐつどい

日時：8月15日(月)13:30~15:30

会場：人権啓発センター6階ホール 参加費：500円
記念講演：「伊藤博文暗殺事件と日韓併合101年—安

重根・幸徳秋水・石川啄木—」

講師：高知近代史研究会会長・公文豪さん

平和のうた・高知センター合唱団